

第6回蕨市アウトメディア推進大会

蕨市立第一中学校 養護教諭 竹内 淳子

蕨市では、子ども達と電子メディアとの過剰な接触を減らし、子どもの心身の健やかな成長を願う「蕨市アウトメディア宣言」を平成23年7月に制定し、アウトメディアの取り組みを進めています。本年度は、平成28年11月19日（土）に第6回アウトメディア推進大会が蕨市民会館で開催されました。

1. 「蕨市インターネットのルール～見直そうケータイスマホの使い方～」の発表

市内の小中学校から代表の児童生徒が集まり、子ども達の話し合いにより「ちょっと待って！その使い方間違っていない？蕨市インターネットのルール～見直そうケータイスマホの使い方～」が新たに作成されました。小学生用は①自分を大切に、②友だちを大切に、③家族を大切に、中学生用は①健康な生活リズムを保つために、②犯罪・トラブルに巻き込まれないためにという項目に沿って、様々なルールが紹介されました。子ども達1人1人が真剣に考え非常に内容の濃いルールができたと思います。作成に携わった各学校の子ども達が元気よく発表してくれました。

2. 講演「スマホ時代の子どもたちとその対応について」

講師 埼玉県立大学共通教育科 教授 東 宏行 先生

東宏行先生からは、最近のネット・スマホトラブルの傾向、SNSを介した独自の仲間関係の特徴をもとに、“周囲の大人はどのように関わったらよいか”という視点についてご講演を頂きました。ネットに関わるトラブルは、金銭トラブル、いじめ問題、依存症など数多く挙げられ、その低年齢化も問題となっています。以前は中学1年、高校1年で多かったトラブルも、今は小学4年生が増えてきているそうです。また、ネット依存の中高生は全国で52万人もおり、問題の深刻さがうかがえます。だからと言って、ある程度の年齢までに適切にメディアを使いこなせないと、将来的に生活上不便・不利になり今度は情報格差の問題が浮上します。現代社会において、もはや必需品であるメディアとどう付き合いどう使いこなしていくかが、どれほど重要であるか身に染みるお話でした。

講演の後半に、東先生が中学生向けの講演において特に強調されているというポイントを、【自分と仲間を守るためにできる4つの工夫と8つのコツ】として、ご紹介頂きました。

・ 4つの工夫

- ①寝る時は近くに置かない
- ②充電は寝室でしない
- ③食事の時は近くに置かない
- ④勉強の時は近くに置かない

・ 8つのコツ

- ①相手が武器にしていると思ったら、自分は武器にしない
- ②自分に来たメールや写真は転送しない

- ③本人に直接言えない言葉は（特に私の気持ち）は書かないで、我慢する
- ④プライベートなこと、個人的なこと、人との関係は直接会って話す、聞く
- ⑤既読スルーされても嫌われている訳じゃない。KSで嫌味を言う人は友達じゃない
- ⑥他人の欠点や悪口は書かない
- ⑦他人が写っている写真を勝手に使うのはやめる。必ず本人の同意をもらおう
- ⑧困った時は大人や信頼できる先輩に相談しよう

上記の内容に加え、『自分を守るためには仲間を守ること』という言葉がとても印象的でした。SNS上の短い文字のみのコミュニケーションでは、誤解を生んだり、不安になったり、口に出すまでの葛藤がない分過激な言葉を発してしまうケースもあります。こうしたトラブルは、子どもだけでなく保護者や大人の世界でも同じことです。ネット・スマホの適切な使い方を子ども達に指導していくことはもちろん、大人自身も自らを振り返り、子ども達の良い見本となれるよう改めて考える必要があると感じました。